

英国ロイヤル・アカデミーで9月から留学生活がスタート!

すべてがまだ始まったばかりですが、理想的な先生に巡り会えた気がします。



東京交響楽団クラリネット奏者

# 近藤千花子

11月に東京オペラシティのリサイタルシリーズ「B・I・C」ベイトゥウシで「あえてシューマン、ブラームスを含まない」意欲的なプログラムを組む近藤さんは、この9月からロンドンのロイヤル・アカデミーで研鑽を積んでいる。「クリエイティブであること」を目指す近藤さんが、どんな留学生活をスタートさせたのか、ホットな話を伺った。

近藤千花子  
(こんどう・ちかこ)

1983年神奈川県横浜市生まれ。9歳からクラリネットを始める。東京藝大付属音楽高校を経て2005年に東京藝大を首席で卒業。安宅賞、アカサス音楽賞受賞。在学中、学内コンサートで広上淳一指揮藝大フィルとフランセのクラリネット協奏曲、新卒業演奏会でモーツァルトのクラリネット協奏曲を共演。2006年桐朋オーケストラアカデミー研修課程修了。東京交響楽団とモーツァルトのクラリネット協奏曲を共演。第22回日本木管コンクール1位、コスモス賞、第6回コンセール・マロニエ21木管部門1位、第14回日本木管コンクール、第78回日本音楽コンクール2位、第2回北京国際音楽コンクール3位。クラリネットを磯部周平、山本正治、村井祐児の各氏に師事。現在、東京交響楽団クラリネット奏者。

——ロンドンに留学されてまだ半月

あまりですから、向こうの話をお聞きするにはちよつと早すぎたかも知れませんがね。

近藤 8月29日に行ったんですが、プ

ロムスに間に合って、着いた翌日にベ

ルリンフィルが聴けました。立ち見で、5ポンドなんです。日本じゃ考えられないですよ。イギリス出身のラトルが指揮したこともあり、すごい盛り上

がりようでした。

行つてみたら先生が違つた!

——クラリネットで日本からイギリスに留学する方は少ないのでは?

近藤 珍しいと思います。私が今まで

師事した先生はみなさんドイツ系で、学生時代は当然、留学先としてドイツを考えていました。でも、楽器のシステムもリードも違いますし、就職後は